

事前評価チェックシート

計画の名称： 茨城県における未普及解消に向けた下水道整備計画（重点）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 1) 計画の目標が、流総計画、茨城県生活排水ベストプラン、都市計画マスタープラン等の上位計画と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 2) 課題を的確に踏まえ、なおかつ数値目標や指標を用いるなど、客観的かつ具体的な目標となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 指標・数値目標と事業内容に整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 3) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 4) 効率的に事業が実施され、十分な事業効果が期待できる。	○
II. 計画の効果・効率性 5) 地域の実情に応じた創意工夫に基づく事業が盛り込まれている。	○
II. 計画の効果・効率性 6) 事業効果をより高めるため、ハード事業とソフト事業を効果的に組み合わせる等の工夫がなされている。	○
III. 計画の実現可能性 1) 計画に具体性がある。	○
III. 計画の実現可能性 2) 計画に記載された事業に関連する地方公共団体等の合意が得られている。	○
III. 計画の実現可能性 3) 計画について住民に対し事前説明を行い、既に理解が得られている、若しくはその目処が立っている。	○
III. 計画の実現可能性 4) 事業実施のための環境整備が図られている。	○
III. 計画の実現可能性 5) 計画期間中の計画管理（モニタリング）体制が適切である。	○